

土岐高山城 下街道高山宿



穴弘法 もみじのライトアップ



馬頭観音



高山城跡 物見櫓

土岐高山城は土岐源氏土岐氏の居館であった浅野館、大富館を守備する要塞として鎌倉時代に創建された山城です。戦国時代には織田軍と武田軍の天下取りの激しい戦いの嵐に巻き込まれました。江戸時代になると中山道と尾張名古屋をつなぐ脇往還として下街道が整備され、高山は宿場町として発展しました。



下街道の街並み



高山宿灯籠

下街道道標

「歴史」「文化」「自然」に恵まれた土岐市の里山林

環境保全モデル林 土岐高山城跡の森

岐阜県では、環境への配慮と森林資源の活用による新たな里山再生手法のモデルを確立するために、平成24年から県内で5か所の環境保全モデル林を整備しました。土岐高山城跡の森はその3番目のモデル林として岐阜県が整備を行い、平成28年に土岐市へ移管されたものです。この森は土岐市と協働して地元の市民団体が整備保全をすすめています。



高山城跡 物見櫓



穴弘法の石仏群 (104体)

歴史的観光資源を活かした森づくり

土岐市中心部は、平安時代より美濃源氏（土岐源氏）の発祥の地として栄え、戦国時代には織田と武田の勢力争いの中で多くの合戦が繰り広げられた所です。

この地域には「高山城跡」をはじめ「穴弘法」、「下街道高山宿」など多くの歴史的資源が残されています。

これらの資源を活かして観光エリアとしての魅力を高め、健康増進、癒し空間の提供を目指す森づくりを推進します。



高山城跡の桜の古木



高山城跡周辺の花桃 (300本)

森づくりのコンセプト#1



山つつじ保護区



穴弘法もみじのライトアップ



しだれ梅を植樹 (100本)

子どもたちを育む森づくり

高山城跡周辺の山林は、かつて陶磁器を焼くための燃料や毎日使う薪の採取場として活用され、子どもたちは里山で遊ぶ中で、森の大切さを学び、感謝の気持ち、故郷への愛情を育んできました。

しかし現在では産業や生活スタイルの変化に伴い人々と森との関わりが希薄になっています。

子どもたちが森の中で学び自然に親しむことができる里山林を再整備し、将来に渡って故郷を支える若い人材の育成を推進します。

森づくりのコンセプト#2



カブトムシの観察会



シイタケの菌打ち体験

高山城 下街道高山宿の歴史

美濃源氏の時代

平安時代、清和源氏の流れを汲む源国房は美濃国に勢力を伸ばし、その孫源光信は土岐郡大富（土岐市）に館を設けたと言われています。この一族を「美濃源氏土岐氏」または「土岐源氏」と言います。文治5年（1189年）孫の土岐光衡は一日市場（瑞浪市）に館を構えました。承久の乱が起きた承久3年（1221年）ごろ、光衡の子、光行は浅野（土岐市）に館を移し、その孫、頼貞は室町時代に美濃国の守護に任命され再び大富に館を構え土岐氏の本拠地となりました。

土岐市の高山城は土岐源氏の一族、高山伊賀守秀頼が鎌倉～室町時代に浅野館、大富館を見下ろす土岐郡高田郷高山の山に砦を築いたのが始まりと言われ、土岐氏の館を守る役割を担ったと考えられています。

戦国時代

弘治2年（1556年）末代の高山伊賀守光俊没後、武田信玄の命を受けた平井光行、頼母親子が高山へ兵を進め城主となりました。武田勢と織田勢が対峙する中で、武田側に父光行を亡き者にされた平井頼母は織田信長の支援を受け高山城を強固な要塞と成し700名の兵によって武田軍の侵攻に備えました。

天正2年（1574年）領土拡大を狙う甲斐の武田信玄の嫡男武田勝頼は1万2千の兵をもって「美濃攻め」を行い土岐市の高山城においても激しい合戦が繰り広げられました。

天正3年（1575年）、長篠・設楽原の戦いで武田勝頼を破りさらに岩村城を奪還した織田信長は次々と諸国を平定し、天正10年（1582年）徳川家康と連携を取りながら総勢3万の軍勢で伊那の高遠城へ攻め寄り武田勢を滅ぼしました。この時土岐市の高山から持ち出したと言われる高山大神宮（現在の南宮神社）の鯛口が高遠の遠照寺に寄進され残っています。

織田信長がいよいよ天下統一を目前とした同年6月（1582年）、明智光秀による本能寺の変が勃発し東濃の地は再び混乱の嵐に巻き込まれました。天正11年（1583年）、高山城を死守していた平井頼母は兼山の森長可に開城を迫られ、その後天正13年（1585年）その生涯を閉じました。

江戸時代

慶長5年（1600年）関ヶ原の合戦の際、土岐市の高山城は一時岩村城主田丸直昌の支城となりましたが、徳川家康に組した妻木軍に攻められ以後妻木家の支城となりました。

その後妻木家は万治2年（1659年）お家断絶となり高山は徳川幕府直轄の天領として、また尾張名古屋と中山道を結ぶ「下街道高山宿」として栄えました。万治3年（1660年）に高山大神宮の跡に氏子の手で南宮神社が再建され、寛文元年（1661年）には崇禅寺の妻木家第十代城主広美の塔頭を移して妙光山慈徳院が開創されました。

明治時代から現代へ

江戸時代末期から明治にかけて陶磁器産業が隆盛を誇るようになり明治13年には明治天皇の御巡幸を仰ぎ、高山（土岐津町）は近代化への道を突き進みました。昭和30年周辺の8カ町村が合併し土岐市が誕生しました。

土岐市の高山城跡はふもとの標高差57mを有し、眼下に市街地を見下ろす絶景の地です。平成22年に高山城跡の「石碑」と「東屋」が設置されました。平成24年には「物見櫓」が建設され、平成28年に周辺一帯が「土岐高山城跡の森」として整備されました。

高山城跡のすぐ下には元禄元年（1688年）に開創された古城山慈光院跡（現在は穴弘法と呼ばれる）があり、104体の石仏が安置され移り行く歴史を見守っています。

毎年紅葉の時期には穴弘法から古城山稲荷、南宮神社にかけて地元ボランティア団体里山の会により「もみじのライトアップ」が行われ多くの市民で賑わいを見せています。

最寄りの便利スポット

グルメ

ファーマーズキッチン（洋食）	TEL 0572-55-7100	地図索引 D-17
スクラッチ（洋食）	TEL 0572-54-5446	D-18
キャビン（喫茶・レストラン）	TEL 0572-55-0200	B-17
座・じゅう兵衛（お好み焼き）	TEL 0572-55-8861	D-12
駒寿司（寿司）	TEL 0572-54-5151	D-12
松寿司（寿司）	TEL 0572-55-4501	E-14
コメダ珈琲店	TEL 0572-56-5900	C-13
ぴあの（喫茶）	TEL 0572-54-7077	E-18
待屋（喫茶）	TEL 0572-26-7868	B-17
どんぐりの森（喫茶）	TEL 0572-51-5501	G-12

特産品

陶土う庵（陶器 / 美濃焼）	TEL 0572-54-2120	B-17
大竹醤油醸造所（味噌）	TEL 0572-54-2115	C-20
虎溪（和菓子）	TEL 0572-55-3047	G-12
山秀製菓舗（和菓子）	TEL 0572-55-2382	B-5

ショッピング

セブンイレブン（コンビニ）	TEL 0572-54-3110	E-15
ローソン（コンビニ）	TEL 0572-54-0041	F-15
バロー肥田店（スーパー）	TEL 0572-55-8000	C-7
バロー三起屋店（スーパー）	TEL 0572-53-3220	D-11
サン마트土岐口店（スーパー）	TEL 0572-55-1234	E-3
三起屋（百貨店）	TEL 0572-55-5011	D-11
ゲンキー土岐肥田店	TEL 0572-53-1720	C-8
土岐プレミアムアウトレット	TEL 0572-53-3160	H-2
イオンモール土岐	TEL 0572-53-0810	F-1
もとてらす東美濃	TEL 0572-55-1123	H-2

道の駅

土岐美濃焼街道どんぶり会館	TEL 0572-59-5611	下図
志野・織部	TEL 0572-55-3017	下図

土岐高山城下街道高山宿へのアクセス

自動車	中央自動車道	土岐ICより車で5分
	東海環状自動車道	土岐南多治見ICより車で7分
電車	JR中央線	土岐市駅下車 徒歩15分

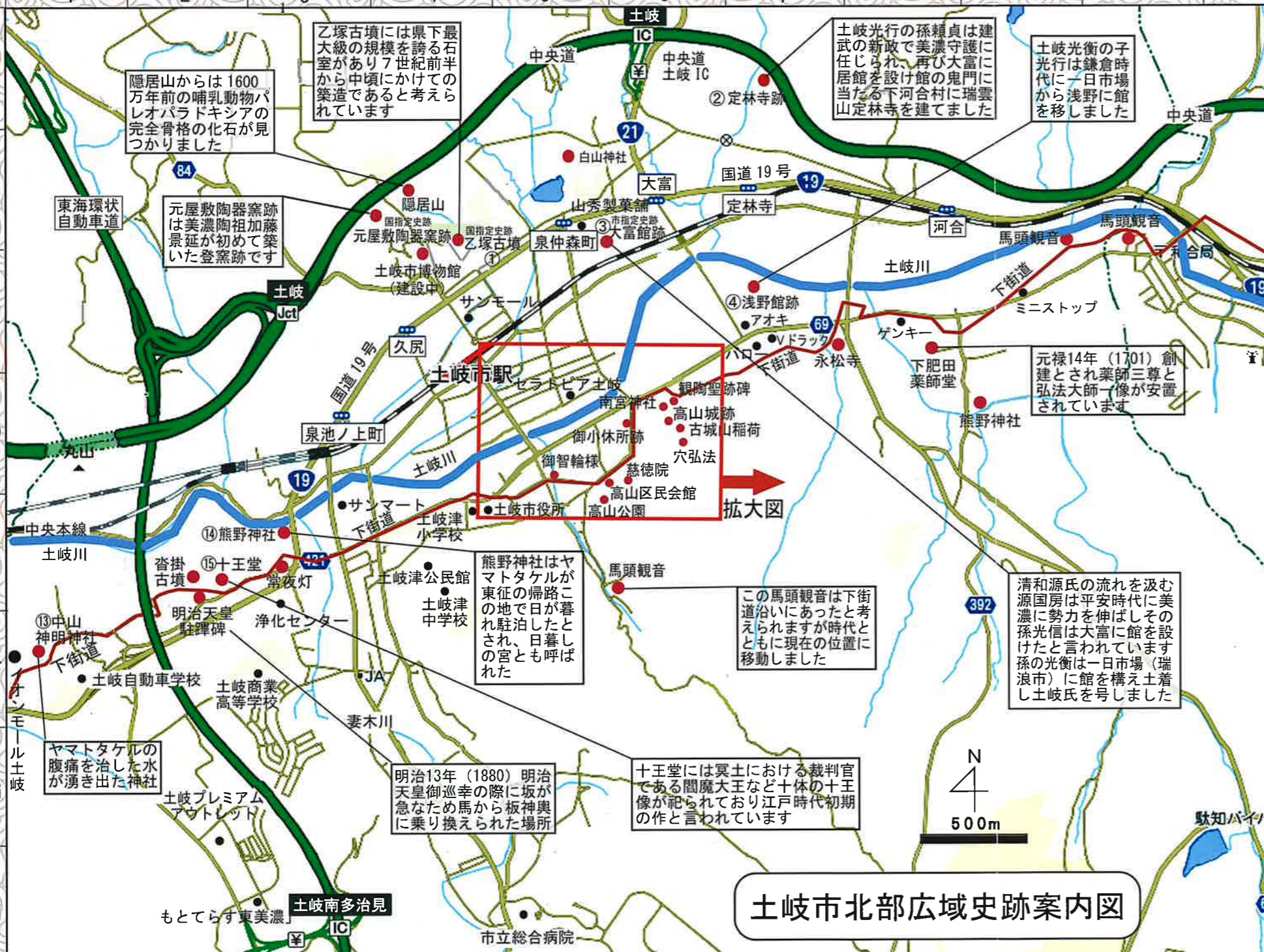


高山城高山宿史跡保存会

<https://www.tokitakayama.com>

連絡先 TEL 0572-55-0112

改訂版 2025.3



13 中山神明神社 F-1 14 熊野神社 E-3 15 十王堂 E-2 16 馬除場跡 G-13 17 御智輪様(明楽寺跡) F-15 18 高山宿石仏群 G-17 19 聖観世音菩薩(慈徳院) G-19 20 慈徳院武家屋敷門 G-19 21 木



明治天皇御小休所跡 D-18 ⑥南宮神社 B-21 ⑦穴弘法の石仏群 E-22 ⑧古城山稲荷 D-22 ⑨高山城跡 物見櫓 C-22 ⑩高山城跡からの眺望 C-22 ⑪センターハウス D-24 ⑫東屋 F-21



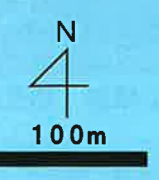
元禄14年(1701)創建とされ薬師三尊と弘法大師一像が安置されています

清和源氏の流れを汲む源国房は平安時代に美濃に勢力を伸ばしその孫光信は大富に館を設けたと言われています孫の光衡は一日市場(瑞浪市)に館を構え土着し土岐氏を号しました

跡案内図



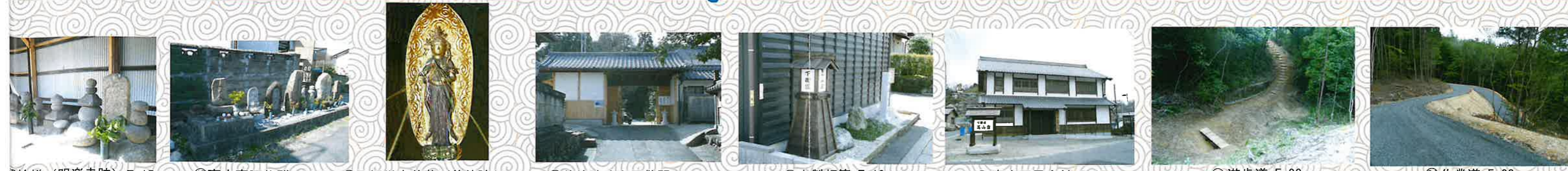
土岐高山城・下街道高山宿 散策マップ



環境保全モデル林
土岐高山城跡の森

- 遊歩道
- 車道
- 作業道
- 下街道

主な施設
センターハウス(教室、作業場)
東屋(しだれ梅園)
作業道(資材運搬道)
木道(湿地帯に設置した木製歩道)
遊歩道(総延長 2km)
パイオトイレ(センターハウス横)
案内看板(3か所)



五輪様(明楽寺跡) F-15 ⑩高山宿石仏群 G-17 ⑪聖観世音菩薩(慈徳院) G-19 ⑫慈徳院武家屋敷門 G-19 ⑬木製灯籠 F-19 ⑭高山区民会館 G-18 ⑮遊歩道 F-22 ⑯作業道 E-23